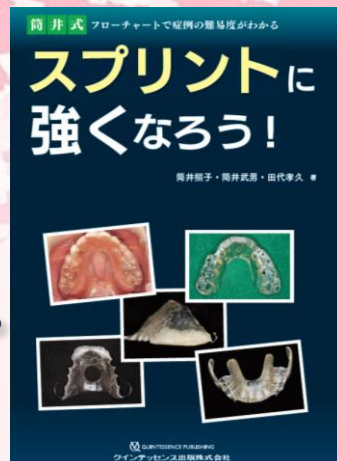


「スプリントに強くなろう！」 出版記念講演会

2017年9月にクインテッセンス出版社より
「スプリントに強くなろう！」が出版されました。
包括歯科臨床を行う上でスプリントは欠かせない手札です。
今回、出版祝いを兼ねて、ラボサイドとチェアサイドとの
コラボレーションをテーマに講演会を企画致しました。
非会員の方も大歓迎です。皆様方のご参加をお待ち申し上げます。

JACD会長 樋口琢善
咬合療法研究会九州支部長 坂田輝之



日時 2018年3月18日(日)
9:30~15:30

会場 北九州国際会議場
(北九州市小倉北区浅野三丁目8-1)
(093-541-5931)
~JR小倉駅から徒歩5分~

懇親会 リーガロイヤルホテル小倉
(北九州市小倉北区浅野2-14-2)
(093-531-1121) ~JR小倉駅直結~
16時00分より出版お祝いも兼ねた懇親会を
予定しております。是非、ご参加ください。

プログラム

Dr.セッション
・筒井 照子
・筒井 武男



「咬合基本治療としてのスプリント療法」

- ・木下 俊克 (咬合療法研究会九州支部 所属)
- ・大八木 孝昌 (咬合療法研究会関東支部 所属)
- ・久保 郁子 (咬合療法研究会九州支部 所属)
- ・帆足 亮太郎 (JACD 所属)

DT.セッション
・田代 孝久
「スプリント作製
とその勘所」
・岩城 秀朋 (BASIC)



お申込みはFAX(093-601-8193)にて

【参加者1】 フリガナ お名前	講演会 出席 欠席	懇親会 出席 欠席
-----------------------	--------------	--------------

医院名など
連絡先名称

連絡先住所 勤務先 自宅 (どちらかに✓を付けて下さい)
〒

tel. - - fax. - -

mail :

出欠に○をお願い致します。

【参加者2】 フリガナ お名前	講演会 出席 欠席	懇親会 出席 欠席
-----------------------	--------------	--------------

【参加者3】 フリガナ お名前	講演会 出席 欠席	懇親会 出席 欠席
-----------------------	--------------	--------------

参加費(当日会場にてお支払い)	2/28まで	当日
会員(スタッフ含む)	無料	3000円
非会員	3000円	5000円
懇親会	8000円	

会員の方もなるべく事前申込をお願い致します。
事前申込された方にはお弁当を用意しております。

お問い合わせ : 筒井歯科医院 馬込
TEL: 093-601-8181 Mail: tutui@22i.jp

2018 JACD&咬合療法研究会九州支部

「スプリントに強くなろう！」出版記念講演会

- 09 : 30 開会の辞 樋口琢善 先生
- 09 : 35～10 : 25 (50分) 筒井照子
「咬合基本治療としてのスプリント療法 (その1)」
- 10 : 25～10 : 55 (30分) 木下俊克 先生
「包括歯科臨床におけるスプリント療法の役割」
- 10 : 55～11 : 05 休憩
- 11 : 05～11 : 30 (25分) 大八木孝昌 先生
「長顔型Ⅱ級Ⅱ類の患者に対して
咬合療法で改善を図った症例」
- 11 : 30～11 : 55 (25分) 久保郁子 先生
「スプリント療法によって力 (咬合) の
コントロールが改善した2症例」
- 11 : 55～12 : 45 昼休憩
- 12 : 45～13 : 10 (25分) 帆足亮太郎 先生
「スプリントを用いてDCSの改善を図った症例」
- 13 : 10～13 : 35 (25分) 岩城秀朋 先生
「スプリント・床矯正装置を製作時に気を付けている事」
- 13 : 35～13 : 45 休憩
- 13 : 45～14 : 20 (35分) 田代孝久 先生
「技工士から見たスプリント作成とその勘所」
- 14 : 20～14 : 55 (35分) 筒井武男
「機能障害患者に対するスプリントの選択について」
- 14 : 55～15 : 25 (30分) 筒井照子
「咬合基本治療としてのスプリント療法 (その2)」
- 15 : 25 閉会の辞 坂田輝之 先生
- 15 : 30 終了予定
- 16 : 00～ 懇親会 (リーガロイヤルホテル 50名程度)

「咬合基本治療としてのスプリント療法」

北九州市開業

筒井 照子

「スプリント」は咬合基本治療であり、習慣性の下顎位を生理的な下顎位に近似させる手技として、非常に大切な手札の一つです。今の私にはスプリントを使わなければ、咬合の立て直しは立ち行きません。何らかの咬合の不調和を訴える患者さんは大半がまずスプリント療法から入ります。しかし、「とりあえずスプリント」ではありません。「習慣性の下顎位と生理的な下顎位の確認」そして、個体差の中での崩壊の道筋を想定し、原因の推察と原因を取り除けるものは取り除いてからの、元に戻すためのスプリントであることを御理解いただきたいと思います。

矯正装置から発展した私なりのスプリント療法を整理しました。目的に沿った分類、作り方、使い方、難易度表など分かりやすく解説しています。

今は、9番目のスプリントとして「側方ガイドスプリント」が加わりました。側方ガイドの不足・欠如している症例に反対側内側にガイドを与えたものです。自分では画期的だと思っています。分かりやすく作成手順の動画も作りましたので、見て下さい。臨床の中で応用範囲が広く、いままで咬合不安定で永く苦しんでいた患者さんも軽快しています。

私の「スプリントに強くなろう」出版、その後を聞きにいらしていただけると幸いです。